

整理しよう！ \*段落要旨・構造\*

This is not the only reason [why the Internet will never replace books], / for books provide the sufficient knowledge of a subject [that sitting in front of a computer monitor cannot provide].

A well-designed book makes the reading experience important.

The book is still the most compact and economical means of conveying a lot of knowledge in a convenient package. / and this is [what makes it popular].

内容Check!

問 次の各文が正しければ ( ) に○を、誤っていれば×を記入しなさい。

1. The author thinks television gives a much better experience than the Internet does. ( )
2. The author thinks the text transferred from an Internet source is quite desirable. ( )
3. One of the reasons the author likes books is that they're very compact for the amount of information they carry. ( )

覚えておきたい表現

in that ... 「…という点で；…という理由で」

ℓ.1 : The Internet is very much like television **in that** it takes time away from other pursuits, provides entertainment and information 「インターネットは、他の仕事に費やす時間を奪い、娯楽と情報を提供する、という点でテレビにととてもよく似ている」

・ in that ... 「…という点で；…という理由で」：前に述べたことの**根拠**や**理由**を表す表現。because で言い換えられる。

Ex. This book is very handy **in that** it contains a lot of pictures. 「この本は、写真がたくさん入っているという点で手ごろだ。」

for ... 「…というのは…」

ℓ.4 : This is not the only reason why the Internet will never replace books, **for** books provide the sufficient knowledge of a subject that sitting in front of a computer monitor cannot provide. 「これは、インターネットが決して本に取って代わることはないといえる唯一の理由ではない。というのも、コンピュータのモニターの前に座っていても与えられない、ある主題に関する十分な知識を本は提供してくれるからである。」

・ for ... 「…というのは…」：前に述べたことの**理由**や**判断の基準**を後から付け加えて説明する時に使う表現。通例コンマで区切られる。この for は前置詞ではなく**接続詞**である。

・ the reason why ~ 「…の理由」：ここでは why が**関係副詞**として使われている。

make+O+C 「O を C にする」

ℓ.8 : A well-designed book **makes the reading experience important**. 「よくできた本は、読書体験を重要なものにしてくれるのである。」

・ make + O + C 「O を C にする」：C には形容詞や名詞、過去分詞がくる。ここでは O が the reading experience, C が important である。

Ex. Her songs have **made a lot of people happy**. 「彼女の歌は多くの人々を幸せにした〔彼女の歌で多くの人々が幸せになった〕。」

① インターネットと本の比較

インターネット：娯楽や情報を与えてくれる。

◆ ℓ.1 **like** ~ 「～のように：類似」

→ インターネットはテレビに似ている。

◆ ℓ.2 **but** 「しかし：逆接」

主張：良書を読むという心温まる個人的な体験とは比べものにならない。

本の利点：・コンピュータが与えることのできない知識を与えてくれる。

・本自体の芸術性が高い。

→ ∴本はインターネットよりも利点がたくさんあり、存在意義があるものである。

② 本が人気のある理由

・多くの情報を伝える、最もコンパクトで経済的な手段である。

・本そのものも、昔と比べて進歩している。

→ 私たちはその進歩に気づかず、便利さを当然のものと考えている。

背景知識

●記録媒体としての本の歴史

私たちは、インターネット上で流れる情報をコンピュータ上の磁気記録に記憶させることがあるが、強い電磁波や磁石などでこの記録が消失することがある。それを見越して DVD や CD-ROM などの光ディスクに記録することもあるが、これらはもともと情報の長期保存を主眼として開発されたものではない。これに比べて、紙は例えば、古代の記録を現代でも閲覧できるといったように、情報の長期保存に優れており、燃えて消失してしまわない限りは残る。

紙の印刷物は、中国では2世紀に蔡倫によって「蔡侯紙」が開発され、7～8世紀頃に同じく中国で本格的な木版印刷技術が確立したことがその普及に大きく貢献した。西欧でも、はじめパピルスや羊皮紙の書写本が珍重されていたが、14世紀末から15世紀初頭にかけて紙が出回るようになり、木版印刷も始まったとされる。そして間もなくグーテンベルクの活版印刷が登場し、印刷物の大量普及が可能になった。これによってルネサンス期の情報伝播速度が飛躍的に向上するなど、文化面への貢献は大きかった。

【深めたい人に】：庄司浅水『本の五千年史』（東京書籍、1989年）、社団法人日本化学会『夢・化学-21 紙とインキとリサイクル』（丸善、2000年）